



Press Release

2004年7月5日

デジベリー、情報ライフサイクル管理(ILM)を支援する 「ファイルセンサス・アフィリエイトプログラム」を発表 - 日本HP、日立システムアンドサービスがパートナーとして参加 -

株式会社デジベリー(以下:デジベリー、本社:東京都世田谷区、代表取締役社長:野渡 龍)は、次世代ストレージ資産管理(SRM)ツール「ファイルセンサス 3.3」による情報ライフサイクル管理(ILM)の普及を支援するための「ファイルセンサス・アフィリエイトプログラム」を発表、同時に日本ヒューレットパッカード株式会社(以下:日本 HP、本社:東京都品川区、代表取締役社長:樋口 泰行)及び日立システムアンドサービス株式会社(以下:日立システム、本社:東京都品川区、執行役社長:中村博行)がパートナーとして参加したことを発表します。

日本 HP と日立システムは、「ファイルセンサス・アフィリエイトプログラム」のパートナーとして、「ファイルセンサス 3.3」を各社のストレージコンサルティングビジネスに組み入れます。これによりコンサルティング初期段階において「ファイルセンサス 3.3」を使用した初期診断、情報ライフサイクル管理に基づく効率的なストレージ運用アドバイスを的確に行うことが可能になります。

デジベリーは、「ファイルセンサス・アフィリエイトプログラム」を通じて参加するパートナー企業へデータの価値とライフサイクルによるストレージシステムの適切な構築、将来の需要予測をアドバイスし「ファイルセンサス 3.3」を活用するエンドユーザー企業への一層の拡販を目的としています。

< 各パートナー企業の「ファイルセンサス 3.3」によるストレージコンサルティングのホームページ >

日本 HP:

http://h50146.www5.hp.com/services/infrastructure/storage/storage_assessment.html

日立システム:

<http://www.hitachi-system.co.jp/storage/>

(五十音順)

「ファイルセンサス 3.3」は、国内ユーザーを初めとして海外では J.P.モルガン・チェース・アンド・カンパニー、キャップジェミニ(旧キャップジェミニ、旧アーンスト&ヤング)、マクドナルド、プリストル・マイヤーズ、タイムワナー等、ストレージ運用に情報ライフサイクル管理を積極的に活用する数千から数万人の従業員規模の企業に採用されています。

ファイルセンサスのホームページ(<http://www.digiberry.com/Intermine/>)

デジベリーについて

社名: 株式会社デジベリー (ファイルセンサス国内総販売元)

<http://www.digiberry.com>

概要: コンピュータハードウェアの輸入、販売、
コンピュータソフトウェアのライセンス提供、販売

設立: 2001年3月30日

本社: 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707

資本金: 1,020万円

役員: 代表取締役社長 野渡 龍



###

FileCensusはIntermine Pty Ltd.の登録商標です。すべてのその他のブランドまたは製品の商標は該当する企業に帰属します。

報道関係者お問い合わせ:

株式会社デジベリー 渡辺
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 3-1-17-707
TEL:03-5797-0866
e-mail:inquiry@digiberry.com